

総会開催結果

通常総会の報告

平成25年度の湖風会通常総会が開催されました。

総会結果の概要は以下のとおりです。

日時 平成25年6月29日13時30分

場所 湖風会館

出席者 出席者 会員92名 委任状25名 計347名

来賓 滋賀県立大学理事・副学長 仁連孝昭様

同 学生・就職支援G統括 水野 潔様

司会 岸本希実洋氏

議長 松下 恭明氏

議案審議 第1号議案 会則改正について 平成23・24年度事業報告

第2号議案 報告 第3号議案 平成23・24年度一般会計収支報告

第4号議案 同窓会館建設特別会計収支状況報告並びに監査報告

第5号議案 役員改選

第6号議案 平成25年度事業計画

第7号議案 平成25年度収支計画

今年3月に竣工した「湖風会館」と合築の教室にて、通常総会が開催されました。岡田会長の挨拶に続き、仁連理事・副学長から祝辞をいただいた後議案審議に入りました。

各議案については、担当役員から提案説明の後、各々拍手により承認されました。また総会終了後、人間看護学部棟食堂で51名の参加による懇親会が、和やかに開催されました。



表1 会計報告

(単位：円)

I 一般会計

平成23・24年度 収支決算		
収入の部		
収入科目	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額
会費収入	6,020,000	5,710,000
雑収入	10,083	120,305
収入の部小計	6,030,083	5,830,305
前年度繰越金	13,919,101	14,761,446
収入の部合計	19,949,184	20,591,751
支出の部		
支出科目	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額
一般経費	1,308,112	1,241,307
設備費	103,100	919,100
事務管理費	1,029,511	1,037,505
委員会活動費	2,140,145	130,480
支部活動費	450,000	878,000
活動助成金	150,000	160,000
その他	6,870	118,813
支出の部小計	5,187,738	4,485,205
次年度繰越金	14,761,446	16,106,546
支出の部合計	19,949,184	20,591,751

表2 平成25年度 役員改選 就任者

所属単位	役員名 (卒業年)
同窓会	◎会長 ○副会長 △地域支部長
短大工業部	△川崎真治(S36) 松下欣市(S39) ◎△松下恭明(S40) 大森哲夫(S41) △日置靖男(S42)
短大農業部	中村久郎(S29) 藤本健一(S33) ◎岡田定一(S34) ○北川孝雄(S40) 植田儀一郎(S45)
短大家政部	桐畑悦子(S39) 國松靖子(S41) ◎辻ひとみ(S42) 道明美保子(S44) 大西友子(S45)
短大看護部	○中川富美江(S48) 安寺久美子(S49) 横田峰子(S50) 五坪千恵子(S53)
県立大学	金尾滋史(H14) 小林匡哉(H17) 玉井大輔(H18) 堀内理恵子(H21) 岸本希実洋(H21) 邊見将史(H22) 柳沼勇多(H23)
監事	高瀬藤一郎(農業 S39) 安部八重子(家政 S43)
(事務局員 竹内順子 中村あや子)	

II 別途積立金収支決算

科目	収入の部	支出の部
繰越金	50,741,823	
利息	18,864	
会館建設費貸付		40,760,687
小計	50,760,687	40,760,687
残高		10,000,000

III 特別会計 同窓会館建設費収支決算

科目	収入の部	支出の部
借入金	40,760,687	
寄附金	10,652,036	
利息	1,259	
会館建設費		42,500,000
備品・事務管理費		5,875,722
合計	51,413,982	48,375,722
残高		3,038,260

委員会の活動報告
総務委員会

湖風会が発足して数年が経過した中で、昨年度は当委員会として、会員の親睦交流、母校県立大学の発展に寄与できるようにこの目標を掲げ、諸課題の具体化に取り組み進んでまいりました。

新たに、大学学部の各学科において総合的に優れた在学生に対し、初めて「学生表彰制度」を企画立案し、湖風会として制度化を図りました。また同窓会の役割として、大学が期待されること、そして何が出来るか：との視点で、大学と湖風会役員との意見交換を定期的開催の第一歩として企画実施したほか、本会の円滑な運営に資するための条件整備に努めてまいりました。

今後とも、今春開館した湖風会館を拠点に、県大の発展と後輩在学生の側面的支援のために、あるべき姿を求めつつ、県大や関係機関との緊密な連携と、意思決定を図る総会・役員会・活動委員会を横軸で結びながら、総合調整機能を発揮していく所存です。

湖風会の円滑な運営のために会員各位の積極的なご支援、ご協力をお願い致します。

(昭40 農業部卒 北川孝雄)

名簿管理委員会

前回の会報発行時に連絡先不明者リストを配布し、皆様のご協力を頂き約600名の方の連絡先が判

明致しました。ありがとうございます。しかし現在も約3600名の方が連絡先不明で、会報や連絡資料が返却されています。

そこで、HPに連絡先不明者リストを掲載しました。一人でも多くの会員の連絡先把握に繋がればと思っています。

現在、名簿管理は一般的なエクセルで行っていますが、2万人以上の会員を管理するには無理が生じています。そこで名簿管理委員会の活動として、機能的な名簿管理ソフトを今年度中に完成しようと取り組んでいます。

また、3年後の「湖風会」10周年記念事業として、名簿発行の検討を始めています。

連絡先不明者減少にご協力お願い
HPの連絡先不明者リストを見て頂き、連絡先の分かる友人・知人名が有りましたら、ご本人と事務局にご連絡をお願いします。

(昭40 工業部卒 松下恭明)

就職支援委員会

平成24年度卒業生の内定率は、約94%と過去2年間に比べ向上してきてきました。

しかし、経済や社会情勢がまだまだ不安定な今日、学生の就職活動は一層厳しくなるものと考えます。

また、学生の企業人・地域人・家庭人としてのキャリア形成を促すこ

とも大切です。このため、大学の学生・就職支援グループと連携しながら、OBと学生との交流会や企業訪問などの取り組みをすすめたいと考えていますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

(昭45 農業部卒 植田儀一郎)



同窓生の住所分布状況 (H25年10月現在)

(単位: 人)

Table showing the distribution of alumni by region and industry. Columns include 工業, 農業, 家政, 看護, 県大, 合計. Rows list various regions like 北海道, 東北, 関東, etc.

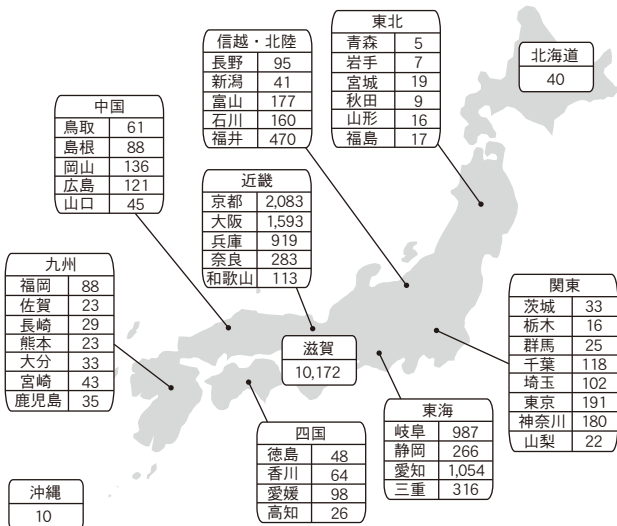


表3 平成24年度卒業・修了者の就職状況

(平成25年5月1日現在)

Table showing employment status of graduates by department and course. Columns include 学部・研究科, 希望者, 内定者, 内定率.

同窓会館建設委員会

「湖風会館」落成式典

秋の気配が感じられるキャンパスで大学祭湖風祭に合わせ、同窓会館「湖風会館」の落成式が挙行されました。

会館建設資金をご寄附頂いた方々に案内状を送付したところ、小雨の降る天候にも拘わらず、大勢の方々の出席を頂きました。

出席者の皆さんには、式典、記念講演、懇親会、更には大学祭の見学等で有意義な半日を過ごして頂きました。

日時 平成25年11月10日13時～

場所 湖風会館

出席者 136名

来賓

滋賀県立大学理事長・学長

大田啓一様

理事・副学長

仁連孝昭様

学生・就職支援グループ統括

水野 潔様

湖風会初代会長

種橋清一様

司会

辻ひとみ氏

開式挨拶

会長

岡田定一氏

来賓祝辞

学長

大田啓一様

会館建設経過及び会計報告

初代会長

種橋清一様

記念講演

建設委員長 日置靖男氏

「木のある暮らし」

滋賀県立大学環境科学部教授

松岡拓公様

懇親会（15時～）

看護学部内ナシエリアにて

出席者 109名

（昭42 工業部卒 日置靖男）



同窓生の活動

滋賀支部

ホームページ（HP）を起ち上げました

滋賀支部が設立されてから2年が

経つ今年5月、第1回通常総会を新築の「湖風会館」で開催しました。今までには多くの評議員の方々がご出席され、盛会に終える事ができました。

昨年の活動としては、支部評議員にアンケートを実施致しました。

①クラス会の開催状況

②同窓会への関心度

③HPの閲覧状況

などでご意見を頂きました。

このアンケートの結果、HPが見られる環境にある会員が80%おられました。

これからの情報発信は経費のかけられないHPの活用が一番と考え、滋賀支部のHPを起ち上げました。

滋賀支部のHPは「湖風会」のH



Pから「滋賀支部」をクリックして下さい。支部のHPには今までの活動記録がすべてあります。

*総会の議案書、議事録

*役員会の議事録

*昨年のアンケートの集計結果などまずはHPをご覧ください。

（昭40 工業部卒 松下恭明）

近畿支部

近畿支部は平成24年4月に5学部統合の「近畿支部」を立ち上げ、その後4カ月に1度のペースで12名のメンバーで「支部役員会」を開催しています。（9月から新しく「芹翠会（家政）」の役員が1名ご参加いただけるようになりました。）開催日は現役の支部役員もおり「日曜日」になっています。

来年 平成26年5月に「第2回近畿支部総会」を計画しています。前回約5,000名の近畿支部会員から「クラス毎に評議員」を無差別にお願いしご案内を差し上げましたが、中にはご病気や介護等のご事情で受け取っていただけない方がおられました。来年の「第2回総会」を前に前回「クラス評議員」をご辞退されたクラスには、再度無差別に「クラス評議員」のご依頼状を来春早々に発送させて頂きますので、ご協力よろしくお願いたします。

今後とも 近畿支部の運営にご協力ご支援をお願い申し上げます。



(昭36 工業部卒 川崎眞治)

東海支部

平成25年度の東海支部総会は5月19日(日)に、新設された国際コミュニケーション棟(A7棟)に併設された湖風会館にて開催することとなり、名古屋からバスにて木の香も真新しい同窓会館へ支部会員19名と本部より岡田会長の出席を得て開催しました。

その後会館建設の経緯並びに今後の施設の利用方法など、新設棟を見学しながら懇親会に移り、大卒とのつながりが益々緊密になり同窓会の役割が増大するなか、今後の協力を願いますとともに支部会員

の皆様方の健康と活躍を願いながら、和やかに歓談が行われ閉会することが出来ました

その後、玄宮園に立ち寄り久しぶりに庭園を眺めながら全員でお抹茶をいただき、おのおのが懐かしき青春の日々に思いを巡らせたひと時を過ごしました。

帰名の途に就き来年元気に再会を誓い散会しました。

(追伸)愛知・岐阜・三重の会員2,200名に案内状を発送し、714名の返信がありました。

(昭42 工業部卒 日置靖男)



工学部学友会

平成23年11月に学部同窓会のトップを切って「工学部学友会」が設立総会を開催して2年が経過しました。その間学部同窓会としての体制

作りや、事業活動について重点的に取り組み、学友会を着実に軌道に乗せることが出来ております。

主な取り組み事業は

一 会員と湖風会及び大学工学部との連携推進、会員・湖風会・大学工学部に対する「工学部学友会」の啓蒙と、卒業会員への大学訪問やクラス会の開催支援。

二 会員相互の交流・親睦の推進

同好会活動の開催 (ゴルフ・テニス・ウォーキング&小旅行・カラオケ・フォト)、名簿管理の充実 (役員・学科学年幹事・クラス会)、HPの維持 (彦機会HP↓工学部学友会HPに改編)

三 大学工学部の活動支援

在学生と一緒にを行う会社訪問活動を企画・実施、大学工学部支援会への加入勧誘

四 事務局 (工学部学友会の運営統括)

いずれの事業も積極・活発に展開されており、体制づくりについては、工学部の教授を学友会の特別理事に迎え、毎回の理事会に出席頂くことにより、大学工学部と一体になって学友会活動を進めることが出来ております。

彦機会当時より継続の会社訪問活動も、通算12回を数えるに至りました。特に平成23年に実施しました(株)イシダ滋賀事業所訪問時には、在学生8名が、平成24年に実施

しましたキャンノンマシナリー(株)訪問時には、工学部教授3名と在学生48名が、そして今年の山科精器(株)訪問時には工学部教授3名と在学生52名が参加して、それらの会社に就職した県大卒業生から、後輩学生に直接お話が聞けるなど、同窓会活動を超越る成果が生まれつつあります。

(昭36 工業部卒 国領朝輝)



クラス会だより(湖風会HPより)

湖風会では、卒業後にクラスメイトとの再会を支援する助成金制度を設けています。年々この制度を利用したクラス会が増えて来しました。

多くのクラス会寄稿文の中から、幾つかを紹介いたします。懐かしい友との再会に歓喜する雰囲気伝わってきます。

全ての寄稿文はHPをご覧ください。

助成金交付申請書はHPからダウンロード出来ますが、不明な点は事務局にお問い合わせ下さい。

S29工業建築科卒

開催年月日 2011年10月19日(水)

20日(木)

会場 「かんぼの宿彦根」

昭和29年工業部建築科卒業(湖建会第2回卒)は、数えること22回目のクラス会を開催しました。

昭和33年に第1回のクラス会を開催して以来、県内外で行いました。29名の同級生も全国 関東〜九州までそれぞれに分かれて就職しましたが同級生の連絡は密にして、22回もクラス会を開催しました。しかし、年齢も80才〜83才と後期高齢者となり29名のうち1/3が物故者、1/3は病院へ通院、元気に生活しているのが1/3で、クラス会を催しても同じ顔ぶれです。

これを期してクラス会は中止(卒

業)と決めました。本当に長い間ご苦勞であつたと感謝しています。想い出すのはこの22回のクラス会を県内外交互に行い、東は伊豆の修善寺温泉、三重の湯ノ山温泉、京都市内、奈良市内、西は山口県湯田温泉、県内は彦根・大津・近江八幡で行ったことです。平成12年彦根市内で催した翌日、我が滋賀県立大学新校舎を見学しましたことが想い出の一頁となっております。



S40農業科卒

開催年月日 2013年(平成25年)

2月21日(木)

会場 草津エストピアホテル

参加者 16名

内容 懇親会

卒業後約半世紀、初めてのクラス会を思い出の地、草津の「エストピアホテル」に近県者は基より、東北は秋田県から九州は長崎県からの参加もあり31名中16名が集合(物故者6名)した。

卒業後初めて出会う方もおられ名前との一致にためらいがあつたが、学生時代の思い出や近況報告を兼ねた自己紹介により学生当時の面影がよみがえつた。今日までの貴重な経験などを語りながら和気あいあいと酒を酌み交わし、盃を重ねる毎に宴は盛り上がり、気兼ねない会話は尽きることもなく最高潮、まさに熱き青春時代のごときで2時間30分がアツと言間に過ぎ、この雰囲気の中、引き続き2次会へと流れた。

2次会では、「カラオケ」で持ち歌や青春歌によつて一層親交が深まり、さらなる絆の一步となつた。この場においても話題は尽きることもなく、知らない内に2時間30分が過ぎ心残りの中お開きとなつた。

なお、次回クラス会の幹事も決まり、北陸方面で1泊2日で開催することに決定、健康に留意し元気で再会することを誓い合い、併せて今回参加されなかつた方々の参加を願つて解散となつた。

(報告者 南井)



S45保育科卒

開催年月日 2012年(平成24年)

10月6日(土)

会場 彦根キャッスルホテル

参加者 25名

内容 懇親会

多くの友から開催をせまられていた同窓会をやつと開催することができました。

私たちのクラスは49名でしたが、1名の物故者で48名中25名の出席者でした。

顔を合わすと、40年ぶりとは思えない笑顔、笑顔で話はずきませんでした。近況報告では、還暦をすぎた今も、学童保育の指導員や子育て支援や地域支援のボランティアなど、学んだ知識を生かしている友も多く



いました。
 また、病氣と闘っている友もいて
 お互い讚えあいました。
 食事より楽しい会話が中心であつ
 という間に約束の時間が過ぎてしま
 いました。
 親の介護や孫の世話、地域の活動
 などの理由で欠席した友の分まで楽
 しんだという感じでした。
 今度は、お堀の桜がきれいな季節
 に会いましょうと約束して別れまし
 た。

(報告者 大西友子)

H5 幼児教育学科卒

◆開催月日 2013年(平成25年)

8月10日(土)

◆会場 Pomme d'Amour

ポムダムール(彦根市立花町)

◆参加者 28名

◆内容 懇親会

卒業して20年という節目の年。
 40歳になって20年ぶりの再会とな
 りました。

51名中、48名と連絡がとれ、当日
 は27名の卒業生と、恩師である東山
 先生が遠方より駆けつけてくださ
 いました。卒業生の中には、はるばる
 宮崎から駆け付けてくれた人も!!
 (ありがとう。)

久々の再会に多少不安もありまし
 たが、顔を見た瞬間、20歳の頃へと
 タイムスリップ。会話が花が咲き、
 近況報告だけで、あつと言う間の2
 時間でした。

驚いたことに、20年たった今も、
 保育園、幼稚園、福祉関係のお仕事
 を続けている人が多く、東山先生も
 大変喜んでいらつしゃいました。

仕事に、家事や育児に、趣味に
 と、それぞれ20年という年月を経て
 も、当時と変わらぬ幼教パワーに、
 お互いがいい刺激をもらい(東山先生
 の変わらぬ美しさにもかなり刺激を
 いただき) 幸せな時間となりました。
 そしてまた3年後に会おうと約束
 して、それぞれの場所へ・・・
 日常に戻っても、Lineやメー

ルでつながり続け、新たな関係がは
 じまっています。やはり、学生時代
 の友人というものは、かけがえのな
 い存在です。
 素敵な仲間たちとまた再会できる
 日を楽しみに・・・



H19 人間文化学部食生活専攻卒

◆開催月日 2012年(平成24年)

11月18日(日)

◆会場 京都 京野菜フレンチ

祇園Abbeesses

◆参加者 8名

◆内容 懇親会

紅葉シーズン真っ只中、観光客で賑
 わう京都にて、同窓会を開催しました。
 卒業以来、毎年開催している同窓

会。今年で6回目となりました。結
 婚、出産、子育てとライフスタイル
 が変化する年齢になったこともあ
 り、参加者は少なかったのですが、
 各々の近況報告に花が咲きました。
 同じような仕事の人と悩みを打ち明
 け合ったり、異なる仕事の人からは
 新鮮な刺激を受けたりと、とても
 有意義で楽しい時間になりました。
 2時間という限られた時間でしたが、
 語り合い、笑い合い、つつこみ合
 い・・・と、学生時代に戻ったよう
 でした。最後は来年の幹事を決め、
 解散しました。来年も楽しみです。



県大ニュース

○皇太子さまが来学されました

平成24年7月23日(月)、第48回 献血運動推進全国大会ご臨席および 地方事情ご視察のため、皇太子さま が滋賀県に行啓され、本学にも来学 されました。

大田理事長・学長がお迎えし、 その後、本学の特色の1つである地 域教育プログラム「近江楽座(おう みらくざ)」についてご視察いた だきました。

始めに印南比呂志人間文化学部教 授がプログラム全体の概要をご説明 し、続いて各プロジェクトの代表学 生がそれぞれ活動の紹介や成果など をパネル展示とともに発表いたしま した。



皇太子さまにおかれましては、熱 心に学生の声に耳を傾けられ、プロ ジェクトでの苦勞した点など多く のご質問をいただくとともに、励 ましの言葉をお掛けいただきまし た。

本学にとりましても、大変意義の ある一日となりました。

○文部科学省「地(知)の拠点整備 事業」に採択されました

文部科学省が今年度から取り組む 平成25年度「地(知)の拠点整備事 業」について、滋賀県立大学より申 請した「びわ湖ナレッジ・コモンズ ー地と知の共育・共創自立圏の 形成ー」が採択されました(全国で は申請数319件に対し採択数52 件)。

この事業は、本学が県東北部唯一 の総合大学として多様なシーズ・実 績を活かし、関係自治体などとの連 携のもと、少子高齢化や若者人口減 少に起因する様々な地域課題に対 し、教育、研究、社会貢献の観点か ら解決に取り組むものです。

これらの取組を通じて、本学の地 域志向を明確にし、地域と大学が人 材を「共育」し、地域を「共創」す る自立圏域の形成をめざしてまい ります。

事業概要

滋賀県立大学は、県東北部に立地 する唯一の総合大学として、その多

様な教育研究シーズやこれまでの豊 富な地域活動実績を活かし、少子高 齢化や若者人口減少に起因する様々 な地域課題解決に取り組む。

学長をトップとする全学的な地域 連携推進体制のもと、教育では、全 学生が学ぶ地域課題基礎教育を導入 し、応用・実践へと発展させるカリ キュラム改革により、学生の「変革 力」を養成するとともに、地域共生 センターを地域課題教育の責任組織 として再編する。

研究では、地域研究人材の発掘と 共同研究を進めるため、連携研究員 制度や地域に開かれた学会を設置し て地域課題研究を推進する。

社会貢献では、教育研究の成果還 元や地域で活躍できる人材を育成す るため、地域ごとの人材育成・リカ レント拠点の設置や地域活動情報共 有システムの整備を行う。

これらの取組を通じて本学の地域 志向を明確にし、地域と大学が人材 を共育し、地域を共創する自立圏域 の形成をめざす。



事務局からの お知らせ

「湖風会館」をご利用下さい

「湖風会館」には2名の事務局 員が交替で勤務しています。クラ ス会や各種同窓会活動の拠点とし てご利用下さい。休日や時間外の 利用についても、出来る限り対応 しますので、事務局員にご相談下 さい。

詳しくは湖風会HPに「湖風会 館管理規程」を掲載しています。 開館時間 月曜日～金曜日の10時～16時

卒業アルバムを寄贈して下さい 同窓会館が完成し、クラス会や 各種会議などで多くの会員が訪れ る事と思います。

そこで、懐かしい卒業アルバムの 閲覧コーナーを作りたく考えま した。

卒業アルバムをお持ちで寄贈し て頂ける方は、事務局までご連絡 下さい。

ご協力お願いいたします。

